

## 平成31年度全国学力・学習状況調査の時間割のモデル

### 1. 本体調査実施日

平成31年度4月18日(木) (後日実施は、4月19日(金)～5月7日(火)まで可能)

### 2. 時間割のモデル

※国語、算数・数学の調査時間の変更：小学校 40分→45分、中学校 45分→50分に変更

#### ◆小学校

1時限目 (45分)	2時限目 (45分)	
国語 (45分)	算数 (45分)	児童質問紙 (20～40分程度)

※児童質問紙の実施は、2時限目終了後に、各学校の状況に応じて、柔軟に実施可能。

#### ◆中学校(6学級の場合)

1時限目 (50分)	2時限目 (50分)	3時限目 (50分)	4時限目 (50分)	5時限目 (50分)	6時限目 (50分)
国語 (50分)	数学 (50分)	英語 「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」 (45分)	生徒質問紙 (20～45分程 度)等	英語 「話すこと」 (1組、2組、3組)	英語 「話すこと」 (4組、5組、6組)

#### <補足>

- 「話すこと」調査の所要時間は、生徒1人当たり10～15分程度(準備5～10分程度を含む)。  
同一学級の生徒を一斉に調査でき、かつ調査対象学年の生徒全員が3単位時間以内で調査できるように設計されている。
- 学校規模等により「話すこと」調査の所要時間が5、6時限目で収まらない場合は、4時限目も「話すこと」調査の実施に充てることができる。
- 「話すこと」調査の終了後に、「話すこと」調査に関する「生徒質問紙調査」の一部(所要時間1分程度の選択式)を実施予定。